

銅 賞

下水しよりしせつの働き

高木 楓花

小郡市立 小郡小学校

わたしは、福童浄化センターの方のお話を聞いて、四つのことが分かりました。

まず一つ目は、下水道は、浄化センターに向かって、ななめ下向きになっているということです。それを知って、わたしは、下水しよりしせつは、よりよく汚水、雨水を集めるためのくふうがされているのだと感じ、一つ一つのくふうで、よりよい町、市になっているのかと思いました。

次に二つ目は、はんのうタンクという所に、活性汚泥がいて、水しつしけん室という所で、水だけでなく、びせい物のぶんせきもしているということです。それを知って、たくさんのしゅるいのびせい物が、前のさ業でとりのぞけなかったよこれをとりのぞいている、びせい物も、わたしたちの生活に役立つ働きをしてくれている、とわたしは感じ、そのさ業のおかげで、わたしたちはきれいな川を見ているのだなと思いました。びせい物は、いっぱい生きてきなものだけでも、ツリガネムシ、ロタリア、アスピディスカ、ウサギワム、クマムシの五しゅるい以上いるそうです。

そして三つ目は、浄化前の水と、浄化後の水は、まったくちがうということです。わたしは、浄化前、浄化と中、浄化後の水を見せてもらいました。そのときに思ったことは、「浄化前の水は、全て茶色

で、全体てきによごれている。」「浄化と中の水は、浄化前の水よりすこしきれいで、よごれがどこにういているかは、よく分かる。」「浄化後の水は、よごれ一つない、とてもきれいですきとおっている。」「と思いました。三つの水をくらべてみると、ちがいがはっきりして、浄化センターの水の浄化は、とてもごった水を一日ですきとおった水にして、川に流す活動をしていて、かんきょうによい活動をしていて、すごいと思いました。

さいごに四つ目は、下水道には、トイレットペーパー以外は流してはいけないということです。じつけんをして、よくみせてもらいました。内ようは、水が入ったペットボトルの中に、トイレットペーパー、新聞紙、ティッシュペーパーを入れて、ふるという内ようです。ふった後、ペットボトルを見てみると、トイレットペーパーしか、えきたいようになっていませんでした。新聞紙はちぎれただけでしたし、トイレットペーパーににているティッシュペーパーも、ちぎれただけでした。だから、「下水道をつまらせないように、よく分らないものは流さないでおこう。」と思いました。

このように、下水しよりしせつは、全員がルールを守れば、よごれた水を浄化して、しぜんにきれいになった水をもどしてくれます。また、その水を浄水場がもう一度きれいにして、今まで使っていた水道水になるのです。

下水しよりしせつも気づいていなかっただけで、私たちの生活をささえてくれていたことが分かりました。